

Rakugo

落語ってどんなもの？

英語で落語ができるの？

落語

英語落語の世界

Let's try English Rakugo!

講師：須藤 達也 氏 (神田外語大学 講師)

日本で英語落語をはじめたのは上方の桂枝雀さんで、1983年のことです。1990年に有楽町のマリオンで枝雀さんの英語落語を見て、落語は英語でも十分にいけることを確信しました。残念ながら、枝雀さんは1999年に亡くなりましたが、彼の死後、英語落語は上方の落語家さんや私に確実に受け継がれています。

今回の講演では、私が特に強い影響を受けた落語家、立川談志、桂枝雀、そして明治時代に活躍したイギリス人落語家、快樂亭ブラックの3人に焦点をあてながら、落語と英語落語、さらには落語と西洋の文学との関係について、パワーポイントを使いながらお話しします。

英語小噺を学生の皆さんにもチャレンジしていただき、その後、いくつか英語落語を演じる予定です。快樂亭ブラックは演者であるだけでなく、噺の作り手でもあったので、一つはブラックが残した「ビールの賭け飲み」を演じる予定です。いつか、イギリスへも持っていきたいと思っている噺です。



講師略歴

愛知県生まれ。上智大学外国語学部卒業。テンプル大学大学院卒業(英語教育専攻)。現在、神田外語大学、及び神田外語学院の講師。落語を演じる際の高座名は鹿鳴家英楽(かなりや・えいらく)。

1983年、立川談志が落語協会を脱会し、落語立川流を創設した時に同流派に参加。1991年から落語教室を、2007年から英語落語教室を主宰。神田外語大学、神田外語学院をはじめ、国際協力機構、全国語学教育学会(JALT)、大使館、外国人宿泊施設などで、落語の講演や英語落語の実演、さらには日本の大衆歌謡を英語で弾き語りをする活動を行っている。

日時

6月22日(金)
16:00 ~ 18:00 (開場:15:30)

会場

神田外語大学5号館
ミレニアムホール

司会

榎本 智子 (当研究所 副所長)

入場無料

神田外語大学グローバル・コミュニケーション研究所
(異文化コミュニケーション研究部・国際社会研究部)

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 1-4-1

TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp